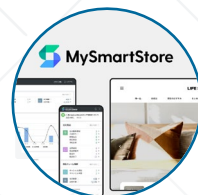


Z HOLDINGS

Zホールディングス株式会社 成長戦略

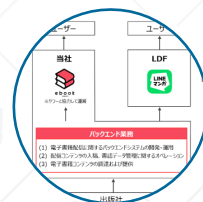
Zホールディングス株式会社 代表取締役社長Co-CEO 川邊 健太郎

2021年度の振り返り



- 2021年度（経営統合1年目） -

グループ経営の本格化に向けた基盤を整備 会社・サービスの枠を超えた価値創出に取り組んだ1年



メディア

ヤフー、LINEの利用者基盤を活かした情報・コンテンツ連携を推進

YAHOO! JAPAN **LINE**

**Yahoo!広告¹から
LINE NEWS面への
広告配信を開始**



YAHOO! JAPAN **LINE**

**3.11企画を共同実施
寄付総額が
1億897万円を達成**



YAHOO! JAPAN **LINE**

**コロナワクチン接種
当日キャンセル枠予約等の
情報発信で連携**



コマース

各社・各サービスの強みを掛け合わせ、お買い物物体験を向上

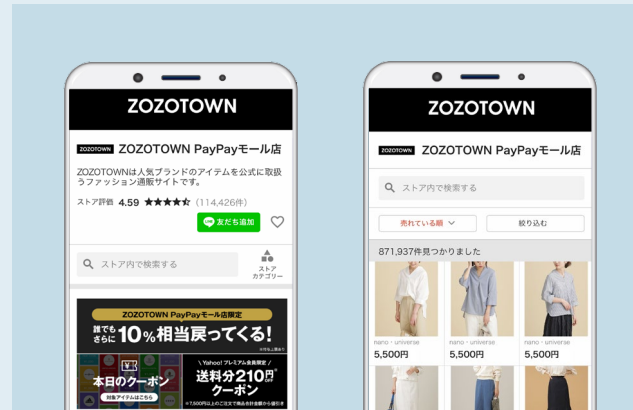
YAHOO! JAPAN ショッピング **LINE 公式アカウント**

Yahoo!ショッピング加盟店の
LINE公式アカウント導入促進
開設ストア数が約2.6万件¹に



ZOZOTOWN **PayPay モール**

ZOZOTOWN PayPayモール店
通期商品取扱高が
YoYで1.5倍以上の成長



YAHOO! JAPAN **ASKUL** **Demaecan**

各社の強みを掛け合わせて
即配サービス Yahoo!マートの
本格展開を開始



戦略（決済・金融）

PayPayを起点とした各種金融サービスの連携を強化

PayPay 銀行 カード

金融サービスの連携に向けて
銀行・カードを
「PayPay」にリブランド



YAHOO! JAPAN PayPay

2022年4月より
ヤフーの利用・付与ポイントを
PayPayポイントに変更



PayPay LINE Pay

LINE Payが
PayPay加盟店での
店頭支払い¹に対応



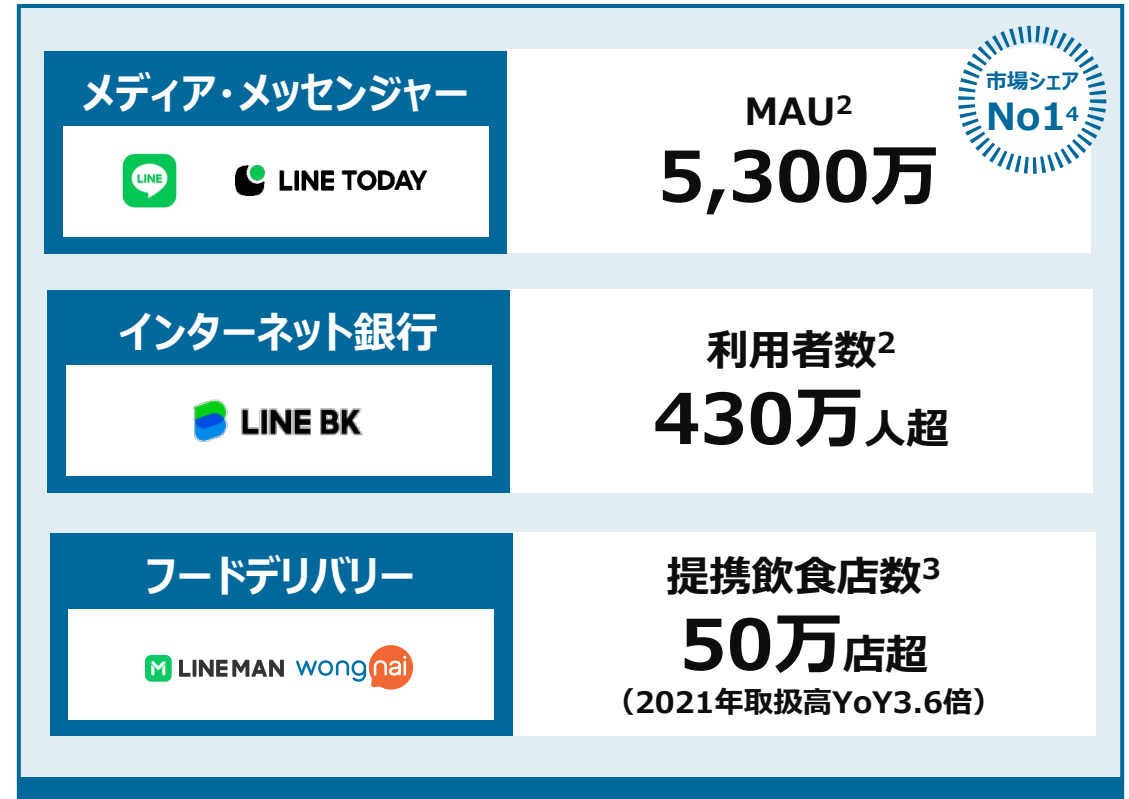
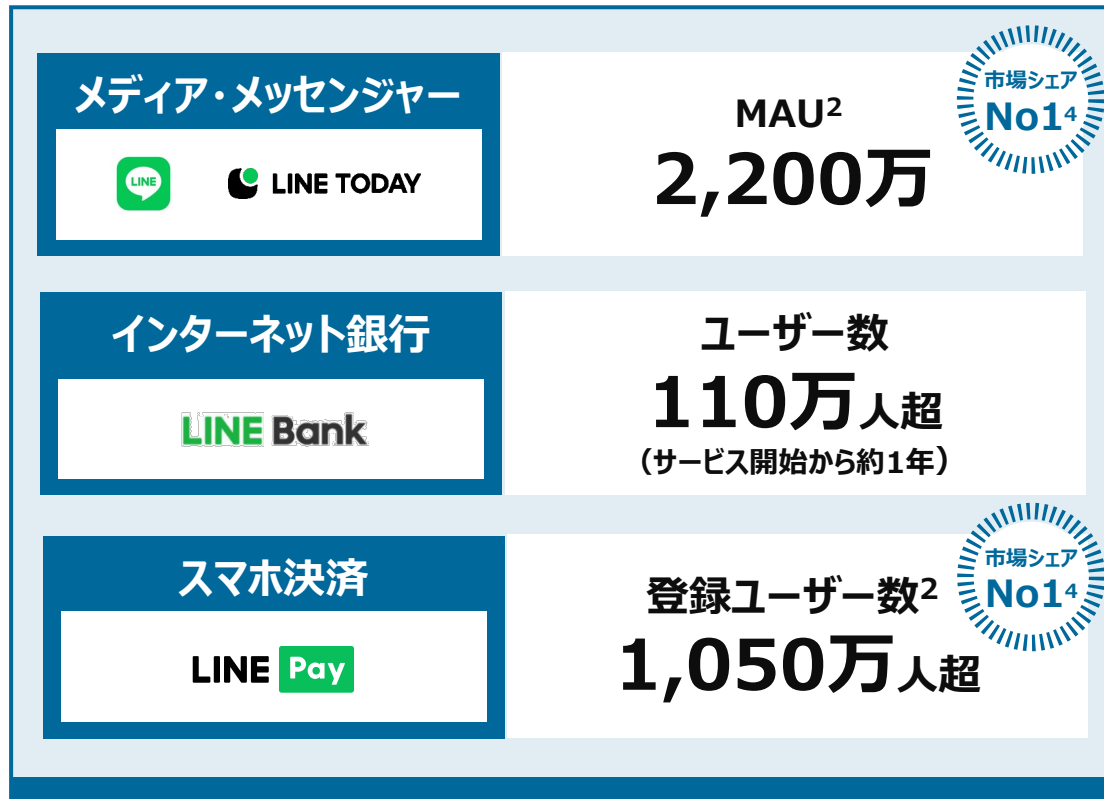
1. LINE Payユーザーは全国366万箇所以上（2022年3月時点）のPayPay加盟店のうち、ユーザースキャン方式の加盟店が使用可能

海外

各国・地域の強固な利用者基盤を活かし、各種事業を展開

 **台湾** 人口2,338万人¹

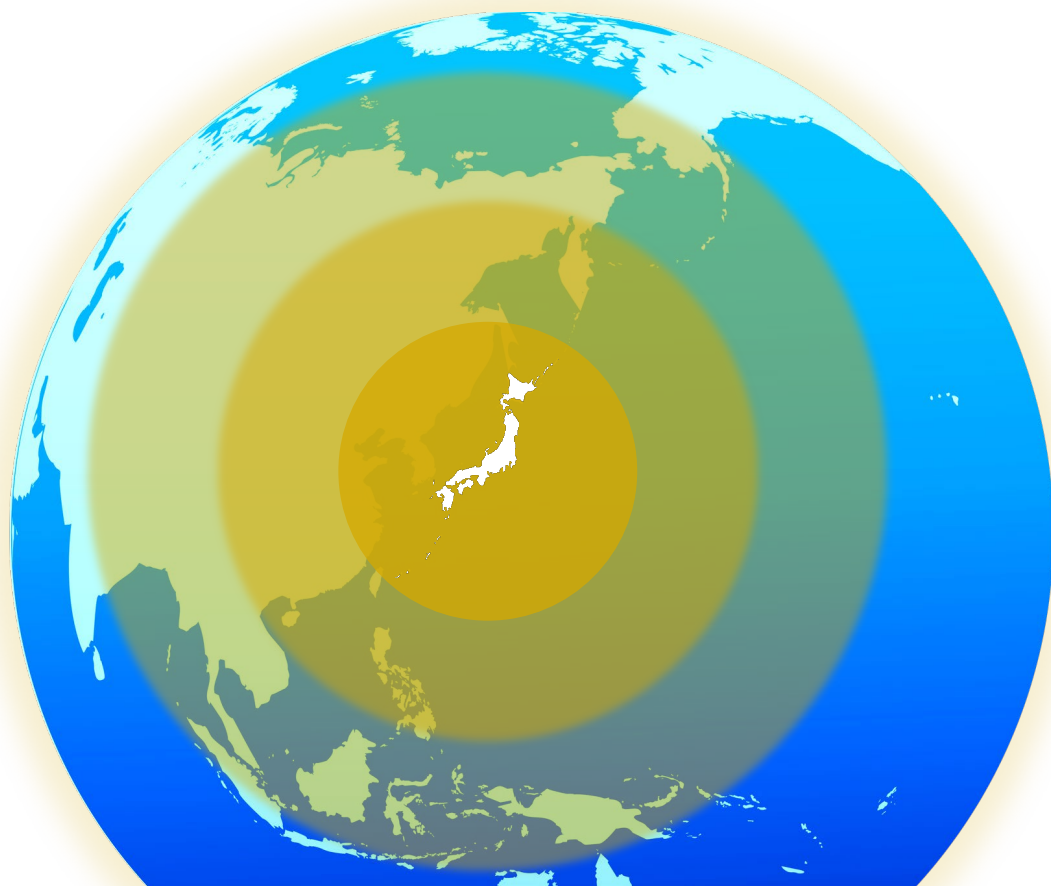
 **タイ** 人口6,617万人¹



成長戦略

Zホールディングスグループが目指すもの

世界のインターネットにもうひとつの選択肢を提供 日本・アジアから世界をリードするAIテックカンパニーへ



日本の主要事業領域でNo.1

アジアの主要国・地域でNo.1

世界をリードするAIテックカンパニー

中長期成長戦略

多種多様なサービスの連携と大胆な戦略投資によって Zホールディングスグループにしか創れない新たな価値を創出



GYAO
Entertainment Company

YAHOO!
JAPAN

PayPay 銀行

Sportsnavi

LINE

体.com

ASKUL

ZOZO

スタンバイ

Demaecan

dely

- 2022年度（経営統合2年目） -

中長期成長戦略の推進を加速するため

サービスのさらなる連携と重点事業の強化に取り組む1年

Z financial

LINE Fukuoka

LINE Xenesis

mybest

LINE Financial

PayPay カード

Z venture capital

Z entertainment

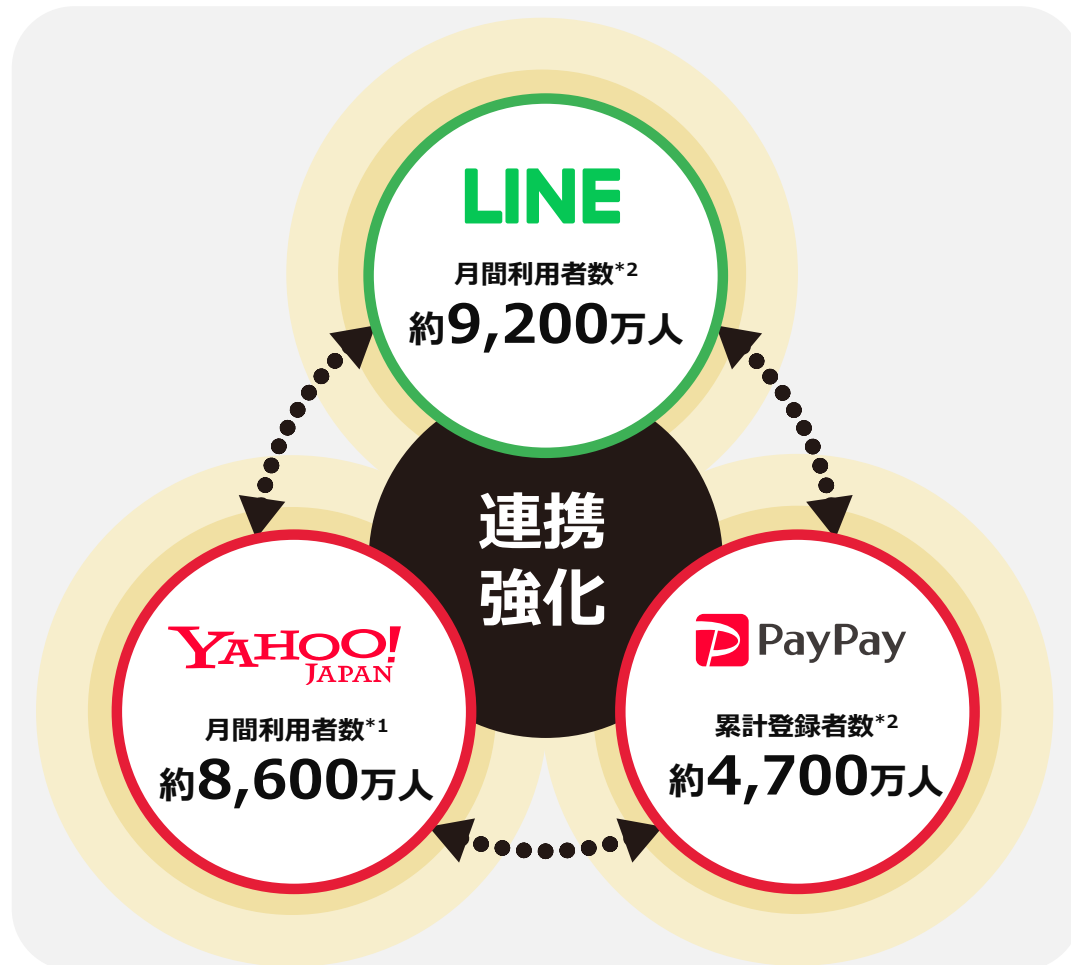
PayPay

LINE Pay

LINE NEXT

2022年度注力領域①

ヤフー・LINE・PayPayの相互利用を促進し、利用基盤を強化



<短期～中長期的に見込める効果>



相互利用促進



各サービスの
新規利用者が増加



各事業指標が拡大

1. ニールセン「TOPS OF 2021: DIGITAL IN JAPAN 日本におけるトータルデジタルリーチTOP10」。2021年1月～10月の月平均利用者数。スマートフォンとパソコンのユーザー重複を含まない

2. 2022年4月時点

2022年度注力領域②

グループ各社の強みを掛け合わせ、新たなお買い物物体験を拡大

LINE GIFT



ギフト
(市場規模：10.1兆円¹)

MySmartStore



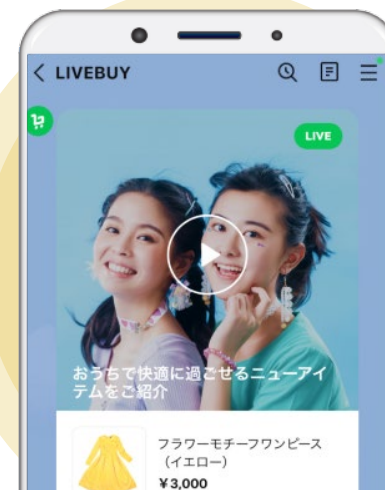
ECサイト作成
(市場規模：4兆円²)

YAHOO! JAPAN マート



即配サービス
(市場規模：2.5兆円³)

LIVEBUY



ライブコマース

1. 「ギフト市場に関する調査（2021年）2022年1月28日発表」 2. 当社調べ「2020年国内自社EC市場規模」 3. 「食品宅配市場に関する調査（2021年）2021年9月15日発表。①在宅配食サービス、②食材（惣菜）宅配、③宅配ピザ、④宅配寿司、⑤外食チェーン・ファストフード宅配、⑥牛乳宅配、⑦生協（個配）、⑧ネットスーパーの主要8分野（業態）を対象とし算出」

2022年度注力領域③

PayPayを起点としたサービス連携で、決済・金融事業を拡大



「PayPayあと払い」
の拡大



累計登録者数¹

約4,700万人



銀行口座数の拡大と
給与振込口座の獲得



PayPayミニアプリでの
保険契約件数の拡大



証券口座数の拡大と
「ポイント運用」の利用推進



領域CPO（チーフ・プロダクト・オフィサー）の新設

各事業領域のプロダクトを推進する「領域CPO」を新設し 意思決定と事業推進を加速させ、横断的なシナジーの創出に注力

Zホールディングスグループ全体のプロダクト戦略をけん引



Group Chief Product Officer

慎 ジュンホ

プロダクト委員会

プロダクトに関する
重要な意思決定を行う

担当事業のプロダクトの成長（売上・利益・KPI）に責任を持つ

領域CPO

Marketing &
Sales CPO



出澤 剛

E-Commerce
CPO



小澤 隆生

Entertainment
CPO



舩田 淳

Global Business
CPO



黄 仁竣

AI CPO



藤門 千明

2022年度 連結業績予想

注力領域推進のため、通期500~700億円程度の戦略投資を執行予定
売上収益、調整後EBITDAともに過去最高を目論む

売上収益

約**1.72**兆円
(YoY約+10%)

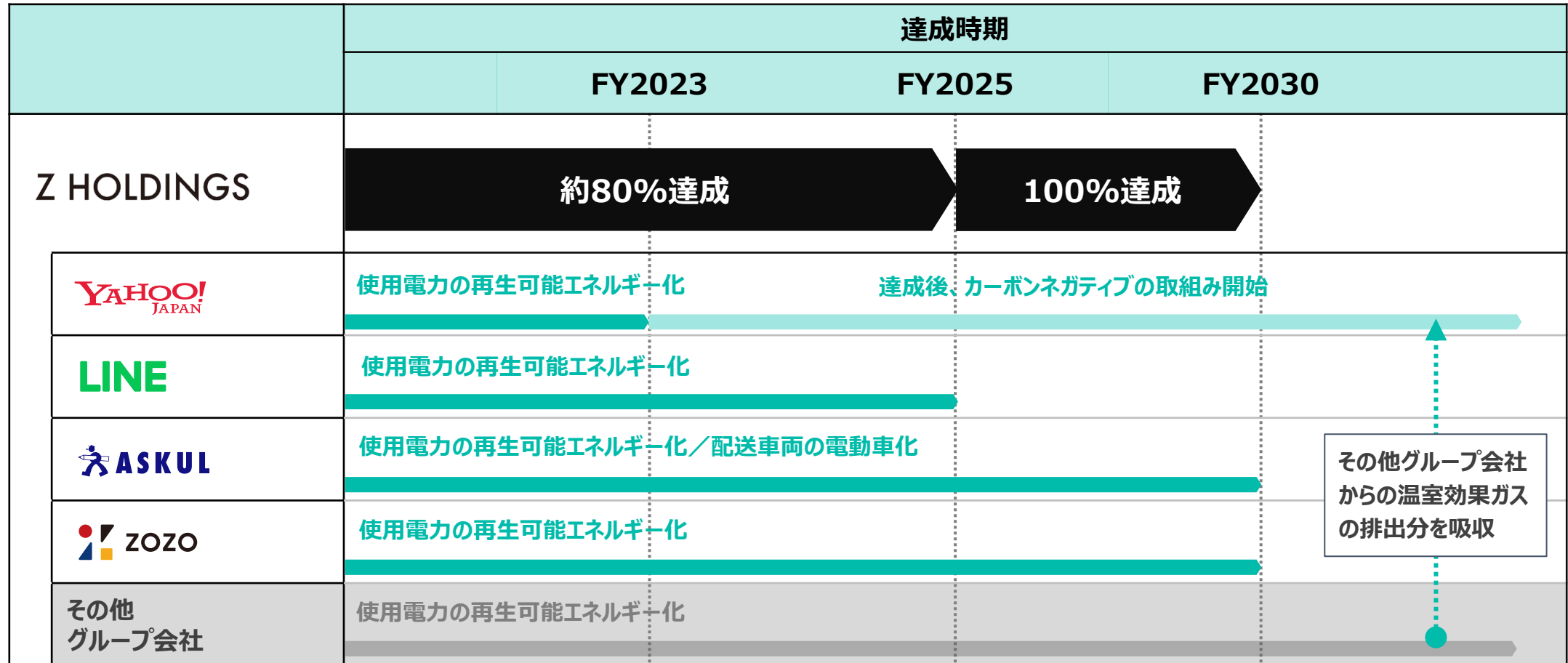
調整後
EBITDA

3,315-3,400億円
(YoY+0.0%~2.6%)

ESGに関する取り組み

2030カーボンニュートラル宣言¹

2030年度までに、ZHDグループ全体でのカーボンニュートラルを目指す



1. GHGプロトコルのスコープ1及びスコープ2の温室効果ガス排出量を対象

スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出。スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

ESG外部評価

外部機関から高い評価を獲得 引き続き維持・伸長させてESG銘柄としてのポジションを確固たるものに

S&P Global - DJSI

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

**「DJSI World」の構成銘柄に
2年連続で選定**

**「Environmental Dimension」で
業界最高評価**

MSCI ESG Rating¹

MSCI
ESG RATINGS 
CCC | B | BB | BBB | A | AA | **AAA**

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

**最上位ランクの
AAA格付けを獲得**

**「MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数」の
構成銘柄に初選定（2021年6月）**

1. 2021年時点で、Zホールディングス㈱は、MSCI ESG 格付けの「AAA」を獲得しています。Zホールディングス株式会社によるMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社（「MSCI」）のデータの使用、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIによるZホールディングス株式会社の後援、承認、推薦、または宣伝を意味するものではありません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIまたはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」提供され、保証はありません。MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。URL：<https://www.z-holdings.co.jp/sustainability/stakeholder/recognition/>

データプロテクション基本方針

Zホールディングスグループ全体のデータ保護・管理の基本方針を策定
グループ一丸となって「ユーザープライバシーファースト」を実現

- 実現に向けた5つの原則 -

①

**ユーザー利益
の優先**

ユーザーの皆さまへの
利益の提供を第一の
目的とします

②

**透明性
の確保**

透明性を重視して
データの取り扱いを
行います

③

**権利利益
の保護**

ユーザーの皆さまの
権利や利益を侵害しない
ように努めます

④

**コントロール権
の尊重**

提供していただいた
データはユーザーの
皆さまのものです

⑤

セキュリティ

適切なセキュリティ
管理体制でデータを
保護・管理します

Yahoo!ニュースにおける誹謗中傷・フェイクニュースへの取り組み

外部有識者のご意見・ご指摘を反映しながら、サービス改善を継続実施

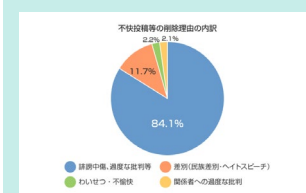
誹謗中傷に関する対策・取り組み



サービス利用ルールの見直し



Yahoo!ニュース コメント欄 健全化に向けたAIの活用



透明性レポートの策定と公開 等

フェイクニュースに関する対策・取り組み



正確な情報の伝達



関連団体との連携



理解促進のためのコンテンツ制作 等

UPDATE **THE WORLD**

情報技術のチカラで、すべての人に無限の可能性を。

引き続きご支援をお願い申し上げます

Z HOLDINGS